

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横浜市大曾根保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：金子 友記子	定員（利用人数）：76名（64名）	
所在地：〒222-0003 横浜市港北区大曾根2-5-1		
TEL：045-531-0034	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1956年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：24名	
専門職員	保育士 27名 看護師 0名 栄養士 0名 調理員（内調理師）3名（0名）	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室（1、2歳児室） 2室 幼児室（3～5歳児室） 2室 調理室 1室 事務室 1室 職員休憩室 1室 地域子育て支援室 1室 トイレ 3室	建物 平屋造り 1階建て 延床面積 445.9 m <sup>2</sup> 園庭 492.14m <sup>2</sup>

③ 理念・基本方針

【保育理念】

すべての子どもたちが、自分をかけがえのない存在と感じ、自信を持って生きていけるよう保育を実践します。

【保育方針】

- ・「大きな家族の大曾根保育園」～家庭的な雰囲気の中で、子どもたちも保育者もクラスの垣根を越えて関わりながら、共に育ち合うことを大切にします～
- ・子どもたちのありのままを認めて、どの子どもも自分を発揮できるように援助します。
- ・心に響く体験ができる環境作りを、園全体で協力しながら行います。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

横浜市大曾根保育園は、東急東横線の大倉山駅から徒歩10分程の、閑静な住宅地にあり、現在1歳児から5歳児までの64名が在籍しています。園舎は平屋造りで、園庭には砂場、滑り台、ジャングルジムや鉄棒等があります。近隣には大倉山記念館と梅林で有名な大倉山公園や、大小さまざまな公園があり、子どもの年齢や活動に応じて散歩に出かけ、季節の移り変わりを感じています。

### 【園の特徴】

開園から68年の歴史のある園で、開園以来地域の人々に温かく見守られています。昨年、園で大事にしていくことについて改めて職員と話し合い、保育方針を改定しました。子ども・大人・地域・職員が大きな家族のようなつながりをもって、子ども一人ひとりに寄り添い、自分が自分らしく居られる環境を作り、子どもの主体性を大切にするというコンセプトが込められています。

港北区内にある5つの公立保育園の一つで、民間保育所等と連携して保育の質の向上に取り組む役割を持つほか、子育て支援事業として、一時保育、園庭開放、育児相談、育児講座、交流保育、赤ちゃんサロンを行なっています。

### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月19日（契約日）～ 2024年2月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

### ⑥ 総評

#### ◇特長

#### 1. 「子ども主体の保育」のための学びと取組

子ども主体の保育について、港北区研修会や園内研修で継続的に学びを深め、3年目となった今年は「子どものやりたいことを実現するには」をテーマに、想定外のことをどうしたら実現できるかを考えて取り組み、港北区の報告会で発表しています。

継続的に保育の質の向上に取り組めるように毎日の昼のミーティングにおいて、「今日のきらり」として子どもの印象的な姿や保育士の心が揺れたエピソード等を報告し、園全体で共有しています。

また、4、5歳児は自分の意見を言い、他者の発言を聞いて話し合う「サークルタイム」の機会を持ち、子どもの意見を保育内容に反映させる取組を行なっています。

年少児の前で演劇や歌を披露する「わくわくパーティー」の開催準備にあたっては、まず演目の決定、次に演目の順番を決める話し合いをしています。発言が苦手な子どもには保育士がサポートし、子どもたちは相手の発言をじっと待っています。

このことは、子どもたちが、いろいろな見方・考え方があることを知って、他者を尊重する心を育むことや、生活や遊びの中で素直な気持ちを表出する、様々な経験を通して、仲間意識を持って支え合うことにつながっています。

#### 2. 目標達成のための体制づくりを支える丁寧な振り返り

年度末の自己評価をもとに、次年度の目標を明確にして、目標達成のための体制づくりをしています。単年度事業計画の具体的な活動として、5つのテーマ（保育、記録、育児支援、職員、新年度準備）について、職員によるプロジェクトを立ち上げ、議論を積み重ねて実践に向け取り組んでいます。

外部研修に参加して、会議や園内研修で共有し、必要があれば手順を見直し、その都度マニュアルの変更をしています。また、年度末には担当を決めて、全ての手順書やマニュアル、重要事項説明書や書類の書式を確認して見直しをし、「大曽根保育園業務マニュアル」として各クラスに配備して活用しています。

#### 3. 園の方針を発信し、保護者の理解を得る取組

昨年改訂した保育方針を、園の目指す保育のコンセプトをわかりやすくイラストを交え「大曽根保育園ってこんなところ」と表記し、保護者の目に留まるように掲示をしています。入園説明会や懇談会でも丁寧に説明し、保護者アンケートでは理念・方

針の周知度が92%となっています。毎月の園だよりやクラスだよりで子どもの姿や活動の様子を、写真を交える等分かり易く発信し、園の大切にしていることが保護者に理解されるように努めています。

◇今後期待される点

1. ホームページの活用

港北区のホームページに掲載している園情報の更新が遅れがちなことを課題としています。園の育児支援情報は港北区の子育て応援サイト「ココマップ」ともリンクしていますので、利用者にタイムリーに直接提供できる媒体として、より活用されることが期待されます。

2. 地域との関係の再構築

長く地域のなかで見守られている保育園ですが、コロナ禍で途絶えたり参加を見合わせたりした行事がありました。ネットワークを生かし、子どもが地域の方とふれあう機会を増やすことを検討し、社会体験の機会を増やして、地域の方々との交流が一層図られることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度、第三者評価を受審するにあたり、受審を「自園の保育の見直しと保育の質の向上」のための良い機会と捉え、職員全員で（会計年度任用職員含む）評価項目を用いた園内研修を通年実施し、保育内容等の確認や振り返りを実施しました。職員からも「職場全体で保育内容等の再確認・再認識ができて良かった。他職員の意見や考えを聞いたことで自分では気づけなかった点に気づくことができた。保育の見直しができて良かった」などの感想が出ていました。

園全体で取り組んだことで、改めて自園の良さや改善点に気づきことができ、保育について話し合う時間を多く持てたという点においても、有意義な一年になったと感じています。

改善を要する点において、すぐに実施できることは速やかに改善を行うようにしていますが、雨天時の園庭のぬかるみの改善等、抜本的な改善が必要なことに関しては、時間を要している現状があります。できることから具体的に行い、保護者の方にも改善への取組が伝わるようにしていきたいと思えます。保護者の皆様には、お忙しい中、第三者評価に関するアンケートにご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。今後の園運営にいかしていきます。

意見としては、視座は異なりますが、内容が類似していると感じられる評価項目があったので、これ以上は難しいかもしれませんが、評価項目の精査をお願いできればと思えます。各スケジュールや日程調整等は、事前に丁寧に行ってくださいだったので、特に問題なくスムーズでした。全体的に受審して良かったと思える内容でした。

ありがとうございました。

大曽根保育園園長 金子 友記子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり